

**対日理解促進交流プログラム「JENESYS2023」**  
**大学生・大学院生派遣プログラム標準日程案（現地渡航）**



			プログラム	ねらい	
<b>プレプログラム（計2日～3日間） 各日2時間程度</b>					
1回目 8月末	オンライン	2時間	初回オリエンテーション JENESYS概要、目的等の説明等	JENESYSの概要、目的等を理解し、参加者としての自覚と意欲を高める。	
2回目	オンライン	2時間	派遣国、テーマに関する講義、自己学習等	派遣国やテーマに関する理解を深める。	
3回目	オンライン	2時間	出発前オリエンテーション	プログラム内容の詳細、渡航に関する注意点、プログラムルールについて確認する。	
<b>本プログラム（計8日間）</b>					
1日目 2日目 3日目 4日目 5日目 6日目 7日目 8日目	派遣国滞在	午前	空港集合、出発オリエンテーション、健康状態確認	事業主旨・目的を再確認し、プログラム参加者としての自覚・意欲を高める。渡航説明、派遣国での安全管理・健康管理について再確認する。	
		午後	離日（成田/羽田空港発）、派遣国へ到着		
		午前	【表敬】 日本国大使館訪問	表敬訪問において日本の代表団としての本事業のミッションを説明し、本プログラムへの参加意識を高める。派遣国の政治・経済・外交・歴史・文化等を理解し、日本と派遣国の類似点・相違点を考える。各国における日本の位置づけを把握し、以降のプログラムでの交流、「日本の強み・魅力」の発信に役立てる。	
		午後	【表敬・派遣国概要紹介】 現地関係機関(教育省等) 訪問 【視察】 市内視察、テーマ関連視察	派遣国の人々の暮らし方や社会の現状を参加者自身の眼で確かめ、理解を深める。	
		午前	【学校交流】 ・校内見学 ・授業参加	日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等について紹介プレゼンテーションと実演を行い、現地の同世代の学生が日本を理解し、日本の魅力を体感し、日本への関心を持つきっかけ作りを行う。また、現地の学生からも派遣国についてプレゼンテーションをしてもらい、相互理解を深める。そして、両国の関心事項や今後の展望につき意見交換を行い、友情を育む機会とする。	
		午後	・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・派遣国学生からの派遣国紹介プレゼンテーション ・派遣国学生とのディスカッション		
		午後	【講義】 【ODA視察】 独立行政法人国際協力機構（JICA）	国際社会におけるODAの現場（技術協力プロジェクト、ボランティアの活動等）を視察し、関係者や現地の人々との交流を通して、先進国としての日本の役割、派遣国支援、国際協力の在り方等について考える。	
		午前	【学校交流】 ・校内見学 ・授業参加	日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等について紹介プレゼンテーションと実演を行い、現地の同世代の学生が日本を理解し、日本の魅力を体感し、日本への関心を持つきっかけ作りを行う。また、現地の学生からも派遣国についてプレゼンテーションをもらい、相互理解を深める。そして、両国の関心事項や今後の展望につき意見交換を行い、友情を育む機会とする。	
午後	・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・派遣国学生からの派遣国紹介プレゼンテーション ・派遣国学生とのディスカッション				
午後	【ホストファミリー対面式】 ※ホームステイの場合	派遣国の家庭訪問を通じて、現地の生活事情を学ぶ。ホストファミリーとの交流を通じて草の根レベルで日本と派遣国との間の信頼関係を築くとともに、日本について紹介し、ホストファミリーや地域の人たちの日本への関心を高めるきっかけをつくる。			
終日	【ホームビジット又はホームステイ】				
午前	【現地視察・文化体験】	派遣国の代表的な歴史/文化遺産や名所の訪問、伝統文化の体験を通じて、派遣国の歴史・文化・社会・人々に対する理解を深め、日本と派遣国との今後の関係/展望について考察する一助とする。			
午後	【ワークショップ】	プログラム中の学びを共有し、アクション・プラン（帰国後の活動案）について話し合いを行い、プログラム関係者に報告する内容をまとめる。			
午前	報告会準備	プログラム中の学び、アクション・プランについて、日本大使館/派遣国政府/ 現地交流関係者等へ報告する。（実施言語：英語）			
午後	【報告会】				
			帰国準備、派遣国を出発		
		午前	日本へ帰国、解散		